

延べ 86 名の方が
参加くださいました

幅広い年代の方が
活発に意見を出し合いました

檜原集落座談会 報告書

“隣近所での支え合い” について考えました～

檜原集落は
「隣近所の支え合い」
にとっても前向き！

これからの
ことを話し合える
地域っていいね！



団塊の世代の皆さんが 75 歳以上となる 2025 年、高齢者の増加に伴い、要介護高齢者や認知症高齢者、高齢者世帯の増加が予想されます。

村上市では、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療・介護・住まい・生活支援・介護予防の 5 つが一体的に提供される『地域包括ケアシステム』の構築に向けた取り組みを進めています。

あさひ互近所ささえ～る隊は、生活支援・介護予防の部分を地域で取り組めるように活動しています。そこで、朝日地区の現状を知るためにアンケート調査を実施したところ、『困っていても近所の人には頼みにくい』という現状が明らかになりました。

この課題を解決するために、住民の皆さんと考え、話し合う場を設けたいと、檜原集落をモデル地区として、座談会を開催しました。

◆開催状況

	開催日	時間	参加人数
第 1 回	平成 30 年 2 月 18 日 (日)	10:00~12:00	46 名
第 2 回	平成 30 年 3 月 4 日 (日)		40 名

【発行】あさひ互近所ささえ～る隊

【お問い合わせ】村上市朝日支所地域振興課地域福祉室 電話：72-6887 FAX：72-0328

◆第1回目の振り返り

【内容】①趣旨説明、寸劇発表

②グループワーク

テーマ1：将来の生活への不安や困りごとは？

テーマ2：どんな檜原だったら暮らし続けたいですか？

【グループワーク①『将来の生活への不安や困りごとは？』】※年代別グループ

順位	1グループ (~49歳)	2グループ (50~64歳)	3グループ (50~64歳)	4グループ (65~74歳)	5グループ (75歳以上)	6グループ (75歳以上)
1	除雪	緊急時の 通報	緊急時の 通報	通院	通院	通院
2	緊急時の 通報	買い物	調理	買い物	買い物	買い物
3	通院	調理	金銭管理	調理	緊急時の 通報	金銭管理
4	買い物	金銭管理	通院	話し相手	話し相手	調理
5	調理	緊急時の 通報	掃除	見守り	掃除	話し相手

【グループワーク②『どんな檜原だったら暮らし続けたいですか？』】※年代別グループ

グループ	出た意見	理由
1グループ (~49歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛ランドあさひ等からきれい館などで使える無料券があればいい。 ・若者の定住 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に縛られてしまうのは嫌。冬場の運動不足に。 ・若者が村上に出てしまう。檜原に残ってもらえるように。
2グループ (50~64歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の助け合い ・1週間に1回の体操（健康維持） ・集落として支える人を置く 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を掛け合う、緊急時にも対応できる。 ・支えてもらわなくても良いよう、健康でいる。 ・区からお金を出してそういう人を置ければいい。実際には難しい。
3グループ (50~64歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・人のつながり、仲間で支え合える集落（農業コミュニティができるといい） 	<p>隣組などで見守りが出来るようなシステムの構築。昔は、農作業でつながりができていた。</p>
4グループ (65~74歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所お互いのことがみられたら 	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた親戚より助かっている。 ・自分のことは自分で。 自分達のことは自分達で。
5グループ (75歳~)	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所で助け合いたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会は活発で気心が知れている。 ・若い世代の人と関わりたい。
6グループ (75歳~)	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの檜原 ・若い人も年寄りも仲良く生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあったら助け合うことが大切。 ・今は名前が分からない人もいる…。

◆第2回目の振り返り

【内容】①猿沢さわやか体操 ②前回の振り返り

③グループワーク

テーマ1：私にできること

テーマ2：檜原集落としてできることは？



【グループワーク①『私にできること』】※組別グループ

	買い物	通院	調理	通報・見守り	掃除・洗濯	話し相手	ゴミ・電池	金銭管理
1グループ (1～3組)	24	18	24	10	29	19	36	13
2グループ (4～6組)	12	10	8	5	7	5	12	0
3グループ (7～9組)	21	18	13	22	16	17	20	6
4グループ (10～14組)	15	9	12	24	25	13	24	3
5グループ (複合)	9	10	3	14	6	3	10	7
	81	65	60	75	83	57	102	29

★「私にできること」として多かったものベスト5は・・・？

①ゴミ出し・電池交換 ②掃除・洗濯 ③買い物 ④通報・見守り ⑤通院

【グループワーク②『檜原集落としてできることは？』】※テーマ別グループ

テーマ	できること	方法	課題	有償・無償 ポイント制	達成の しやすさ
ゴミ出し 電池交換	・ゴミ出し日の声かけ	・実際に会って声をかける ・定期的に ・組に声掛けの当番を置く ・1週間ごとの当番制 ・カードを作る(回覧板)	・働いている人は難しい ・朝や夜は大変 ・特定の人に迷惑をかけない ・隣組同士で	無償	◎
	・ゴミの分別の手伝い	・ゴミ当番を決める ・交替で見せてあげる ・困っている人を特定、様子を見る	・その人の家までは行けない ・困っている人が困っていると言ってくれれば…	有償か ポイント制	△
掃除・洗濯	・草取り	・当番を決める、名簿を作る ・隣の人に頼む ・協力できる人の連絡網を作る	・燃料費 ・機械の故障	有償	◎
	・洗濯	・取り込むくらいならできる ・コインランドリーに持って行く	・個人的なものには触れない	無償	◎
	・掃除	・外回りの掃除	・家の中まではできない	無償	◎
買い物	・頼まれた日に買い物	・週1回、もしくは2回 ・買い物を依頼する人、行く人を登録 ・組単位で、窓口は組長	・メンバーは組から2名必要 ・生鮮食品はまとめ買い ・交通事故の心配 ・頼まれたものと違うものを買ったら… ・お金を預かるのは不安 ・複数の依頼があれば大変	無償が良いが 続かない	○か△
	・買い物に連れて行く	・ジャンボタクシーを借りる			
通報・見守り	・安否確認	・テレビ電話の活用 ・隣近所が顔を見に行く	・テレビ電話がないところもある ・隣まで遠い人もいる	無償が良いが 続かない	
	・日頃から行き来する	・茶の間などに参加する	・行事が少なくなった、参加者が固定化 ・顔が分からなければ、見守りされる側も怖い		
	・仲良く声かけをする	・行事への参加など日頃の付き合い			
通院	・バス停まで車で送る				
	・病院まで送る		・朝の時間は忙しい ・働いている人は難しい		
	・乗り合いタクシーの時間	・使い方を教える ・通院日が分かったら予約する		無償	◎
	・病院の送迎	・退職者が集まってグループを作る	・安全面 ・無償だと頼みにくい	有償	○

※達成のしやすさ・・・◎今すぐできる！ ○もう少し検討すればできる！ △今は難しい

座談会のまとめ

◎将来困りそうなことや不安なことは・・・？

- ・「通院」や「買い物」など移動手段が必要なこと。自分で運転ができなくなったら不便。
- ・毎日の生活に「調理」は必要だけど、火の取り扱いが心配。
- ・一人暮らしになれば、いざという時に不安。話し相手や見守りをしてくれる人がいたら…。

◎どんな檜原集落だったら暮らし続けたいですか？

- ・体操教室やきれいな館で使える無料券の配布など、健康に関する支援があればいいな。
- ・若い人たちへ定住支援を！
- ・隣近所で助け合いたい！助け合いの檜原。
- ・若い人も年寄りも仲良く生活できれば！
- ・農業で人のつながりを作れたら…。

⇒ **目指す地域像** “隣近所での支え合いのある檜原集落”

◎地域のためにできること、檜原としてできること

- ・「ゴミ出し・電池交換」の項目が最も多く、延べ 102 名が「できること」に挙げました。
- ・「私にできること」の案を 45 個ほど用意しましたが、1 人あたり平均で 13.8 枚も選んでいただきました。
- ・テーマごとに、檜原としてできることについて検討し、色々なアイデアが出されました。



生活ささえ愛隊長より

あさひ互近所ささえ～る隊は、日常生活における困りごとを、行政や介護保険制度に頼らずに解決するにはどうしたら良いのかを考えています。

檜原集落の皆さんからは、『ちょっとした困りごとは地域で解決していこう！』というアイデアが出ました。さらに、『私にできること』として、非常にたくさんの声を出していただくと同時に、地域での支え合いを実現するためには、まだまだ難しいところもあることが分かりました。

檜原集落の皆さんが、隣近所・集落での支え合い活動について、**前向きでかつ協力的**であることが分かり、大変有意義な時間となりました。

今後は、今回出していただいたアイデアの実現に向けて、皆さんと話し合いながら進めていきたいと思えます。

“隣近所の支え合いのある檜原”のために、
一緒に考えていきましょう！

あさひ互近所ささえ～る隊 生活ささえ愛隊長

しまだ ゆうな
島田 裕菜

